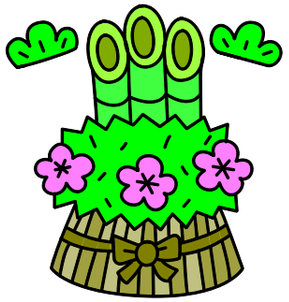
笹中だより

伊丹市立笹原中学校学校通信第１１号
平成３０年１月９日
編集責任者　校長　太田洋子

あけましておめでとうございます。



平成３０年の新学期を無事に迎えることができました。「平成」という元号が1年間続くのは今年が最後になります。時の流れは思った以上に早く、世の中はめまぐるしく変化しています。
ＡＩ（人工知能）の進歩で、様々なことが人の手を使わなくてもできるようになっています。このままでいくと、10年後には、多くの職業がなくなるのではないかと言われています。こんな時代に必要な力はどういうものなのでしょうか。

総務省が行った「人工知能（AI）の活用が一般化する時代に求められる能力は何か」というアンケート調査があります。特に重要だと考えるものは何かを有識者に対して尋ねたところ、「仕事をする能力」や「基礎的な知識」よりも、「チャレンジ精神や主体性、行動力、洞察力などの人間的資質」や「企画発想力や創造性」を挙げる人が多かったそうです。つまり、ＡＩができることはＡＩに任せて、ＡＩができない「アイディアを出したり、仲間と一緒に何かを作り上げる力」が必要なのだと思います。

これからも笹中は「基礎的な学力（読み・書き・計算）」だけでなく、このような力が身につくように、子どもたちを指導していきます。

３学期は３年生にとっては自分の進路が決定する節目となる大事な時期です。健康管理には十分に気をつけて、「入試」に向け、万全の体制で臨んでください。

１，２年生にとっても、進級に向けたまとめの時期。その学年に身につけておくべきことについては、しっかり取り組んでください。

笹原中学校では職員一同、保護者の皆さまとともに手を携え、新たな気持ちで生徒の教育に取り組んで参ります。今年もよろしくお願いいたします。

２年生の進路講話

１年生の認知症サポーター講座

＝平成３０年の笹中はこのような取り組みをしていきます！＝

１．昨年に続き、規律を徹底します。

①２分前着席を確実に行います。（準備物は机上に用意）
②チャイムと同時に「起立！」します。
③無言で集中して清掃を行います。
④落ち着いた環境で、給食指導を行い、残食ゼロを続けます。

２．Ｑ－Ｕの結果をもとに、ルールとリレーションのバランスの取れた学校・学級作りを目指します

(1)教えあい・学びあいびのできる学級・学年を目指します。
　①数学の教え合い学習「笹トレ」を確実に行うなど、基礎学力を身につけさせます。
　②単にグループでの学習だけではなく、学習の目標や役割をはっきりさせるチームでの学習を進めます。
　③一人一人の生徒への○つけや声掛けなど、机間指導を丁寧に行います。
(2)学んだことを定着させるふりかえりを授業で確実に行っていきます。
(3)積極的に発言できる学級づくりを進めます。
(4)学校と家庭との連携、関係機関との連携を強め、問題に対してはスピーディーに対応します。
(5)「み（身だしなみ）、そ（掃除）、あ（挨　拶）、じ（時間を守る）」を合い言葉に、地域や保護者との連携を図りながら基本的な生活習慣を徹底していきます。
(6)生徒のよいところを見つけて、それを認めていきます。

笹中の取り組みから（12月　地域との連携）

笹原中学校では毎年笹原公園の落ち葉清掃に地域の方と一緒に参加しています。
今年度も１２月の三者懇談中に部活動単位で参加してくれました。

公園を管理されているボランティアの方からは、「とても助かりましたと」お礼の言葉をいただきました。

［参加した部活動］
男子テニス部　女子テニス部　吹奏楽部　男子バスケットボール部
女子バスケットボール部　男子バレー部　女子バレー部　野球部

無言清掃の効果

中学生の時期は、脳が一番成長するときです。この時にゲームやスマホばかりで、勉強しないと脳は成長しません。脳の成長には、毎日基礎的な学習をすることがよいと言われますが、そのほかにも黙々と作業することもよいという研究結果が出ています。集中して8分間清掃に取り組む「無言清掃」は、学校がきれいになるだけでなく、脳をコントロールする力を育てることにもつなっています。自分の脳は自分で育てることが大事です。